

ホテルの今がわかる、次代が見える

# HOTEL

Japan Hotel Association *Review* 2023.4/5/6 Vol. 743

拡大特別号

Featured  
Interview

定保英弥 新会長インタビュー

レジリエンスを高め  
新たな基幹産業の  
担い手へ

連載エッセー ● 山本一力

多文化の視点 ● カン・ハンナ

ホテリエの現場から ● ライブラリーホテル

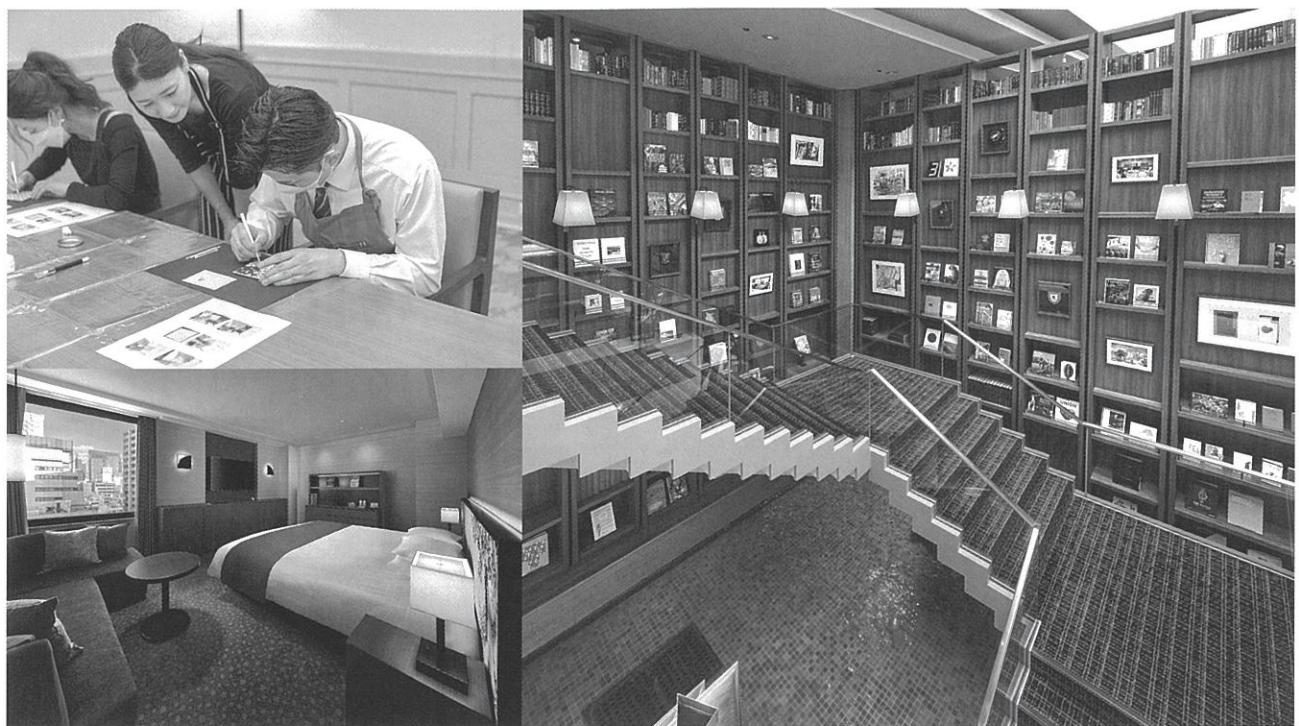
レポート ● 令和5年度 春季通常総会

レポート ● 令和5年度 社会貢献表彰

経営者セミナー ● 人手不足の悩みも解決

文化の継承

芝パークホテル



歴史的価値の高い「芝」の地に建つ芝パークホテル。土地に流れるDNAを受け継ぎ本とともに文化に触ることで知と感性を揺さぶる体験を提供している。

取材・文／仲藤里美

# 「ライブラリーホテル」として再始動

## 土地の歴史や伝統を受け継ぐホテルに

開業から70年を経て、2020年にリニューアルを果たした芝パークホテル。同時に「人、街、歴史をつなぐ」という新たなコンセプトを掲げ、「ライブラリーホテル」として一歩を踏み出した。

「リニューアルにあたっては、改めて自分たちの、そしてホテルがある東京・芝地区の歴史を振り返ることから始めました」。同ホテルのブランディングマネージャーを務める藤川欣智氏はそう語る。

ヒントになったのは、かつての芝地区の様子を伝える古地図だつたという。「当ホテルがある場所は、増上寺というお寺の学僧たちが寝泊まりする寮だったことがわかった」と藤川氏は語ります。

宿泊やアフタヌーンティーと「金継ぎ」教室を組み合わせた伝統文化体験プランの提供もスタートした。割れた陶器を継ぐことで、ものを無駄にしないだけでなく新たな美を生み出す。その精神に、日本の伝統的な美学を感じたことが本企画を始めたきっかけだ。現在は、インストラクター資格を取得したホテルスタッフが講師を務め、合成漆などをする「簡易金継ぎ」のみの体験だが、いずれは、本職の金継ぎ職人に教わる「本漆体験」も企画したいと意欲を見せる。

## 明日につながる豊かな体験を提供

「ライブラリーホテル」として、新たなスタートを切つてから3年。「ロビーで過ごすゲストの姿が、以前よりも増えた」というのが、藤川氏の印象だ。以前は、

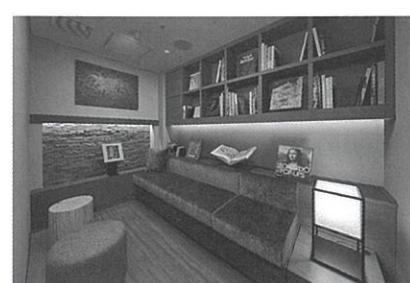
するだけではなく、購入することもできる。

「今は、日本の伝統工芸を日本にする機会自体が減っている時代です。海外ゲストも含めて、多くの人にその魅力を知つていただく機会をつくりたいと考えました」

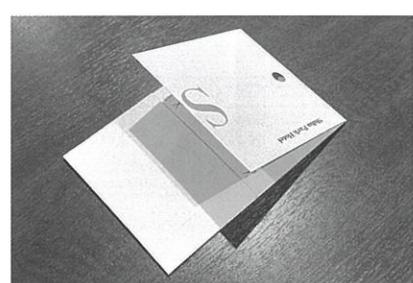
宿泊やアフタヌーンティーと「金継ぎ」教室を組み合わせた伝統文化体験プランの提供もスタートした。割れた陶器を継ぐことで、ものを無駄にしないだけでなく新たな美を生み出す。その精神に、日本の伝統的な美学を感じたことが本企画を始めたきっかけだ。現在は、インストラクター資格を取得したホテルスタッフが講師を務め、合成漆などを用いる「簡易金継ぎ」のみの体験だが、いずれは、本職の金継ぎ職人に教わる「本漆体験」も企画したいと意欲を見せる。

「ライブラリーホテル」というコンセプトに魅力を感じた」という海外からの旅行客も増えている。「先日はあるゲストが、どうしても最後まで読みたくないで、持ち帰ってしまった」と、帰国後にわざわざ謝罪の手紙とともに本を送り返してくださったこともあります。ホテルで過ごしていくたまく時間の延長お客様の生活があると感じられて、「貴重な経験でしたね」と藤川氏は笑う。

「本との関わりを通じての社会貢献を」と、部屋代の一部が市民団体を通じ、海外の子どもたちの識字率向上のために使われる宿泊プランも開始した。



館内には、本を片手にゆっくりとくつろげる場所がいくつも設けられている。海外ゲストが多いため、書籍の半数は英語。



紙製キーカードは、広げれば某として使えるアップサイクルデザイン。館内フリーWi-FiのIDやパスワードも記載されている。



「職人ものがたり展」の展示風景。展示している作品は購入も可能。書棚は展示を想定して特注した。

りました。いわば「学びや宿泊」が、この土地のDNAとしてあります」

そのDNAを受け継いでいたい。宿泊だけではなく、学び、知識を得られる場でもありたい。その思いが「ライブラリーホテル」の発想につながった。

ちがやつてきたことに、さりに足し算をした、という感覚です」と藤川氏は言う。

リニューアル後は新コンセプトにあわせ、館内に数多くの読書スペースを設けた。1階には暖炉のあるライブラリーラウンジ、2階への階段には高さ7メートルの大書棚……日本文化、建築、アート、ファンションなどを中心に、蔵書は約1500冊。海外ゲストに配慮して、約半数は英語の本とした。

また、周囲の町並みが古きよき江戸の風情を残す中で、ホテルもまた日本の伝統や文化を次の世代に引き継げる場に、といふ思いもあった。そうした、さまざまな思いを重ね合わせる中で生まれたのが「人、街、歴史をつなぐ」。新しく何かを変えたというよりは、これまで自分が

リニューアル後は新コンセプトにあわせ、館内に数多くの読書スペースを設けた。1階には暖炉のあるライブラリーラウンジ、2階への階段には高さ7メートルの大書棚……日本文化、建築、アート、ファンションなどを中心に、蔵書は約1500冊。海外ゲストに配慮して、約半数は英語の本とした。同時に、読書スペース内で「職人ものがたり展」と題する常設展の開催も始めた。季節ごとにテーマを決めて、全国から集めた陶磁器や織物、木工品や和紙などの伝統工芸品を展示。鑑賞

ちがやつてきたことに、さりに足し算をした、という感覚です」と藤川氏は言う。

リニューアル後は新コンセプトにあわせ、館内に数多くの読書スペースを設けた。1階には暖炉のあるライブラリーラウンジ、2階への階段には高さ7メートルの大書棚……日本文化、建築、アート、ファンションなどを中心に、蔵書は約1500冊。海外ゲストに配慮して、約半数は英語の本とした。

同時に、読書スペース内で「職人ものがたり展」と題する常設展の開催も始めた。季節ごとにテーマを決めて、全国から集めた陶磁器や織物、木工品や和紙などの伝統工芸品を展示。鑑賞